

演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用要領

1 趣旨

この要領は、「演習場周辺住宅防音工事標準仕方書」（以下「仕方書」という。）共通事項 3 に規定する防音材料及び防音工法（以下「防音材料等」という。）の選定採用の手続等について、必要な事項を定めるものとする。

2 選定採用手続

- (1) 地方協力局地域社会協力総括課長（以下「地域社会協力総括課長」という。）は、防音材料等の選定採用を希望する防音材料等の製造者等（以下「依頼者」という。）に公的試験所、研究所等における性能試験報告書（原本に限る。）を添付した別記様式第 1 による演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用依頼書（以下「選定採用依頼書」という。）を提出させるものとする。ただし、依頼者が希望する場合にあっては、地方防衛局を経由し提出することができるものとし、地方防衛局企画部長は、依頼書を受け付けたときは速やかに地域社会協力総括課長に送付するものとする。
- (2) 前号の防音材料等のうち防音建具については、遮音性に係る性能試験における試験体の形状及び内法基準寸法並びに遮音性が試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を付図 1 及び付図 2 のとおり定め、依頼者は、当該評価品について選定採用を希望する場合は、試験体の遮音性に係る性能試験報告書を使用することができるものとする。
- (3) 地域社会協力総括課長は、第 1 号の選定採用依頼書の提出があったときは、防音材料等の性能等が仕方書の性能基準等に適合するか否かを審査の上、審査結果を依頼者に通知するものとし、併せて提出された性能試験報告書を返却するものとする。

3 選定採用の取消等

- (1) 地域社会協力総括課長は、防音材料等の選定採用において、虚偽等の不適切な行為が判明した場合、直ちに、当該防音材料等の選定採用を取り消すものとする。
- (2) 地域社会協力総括課長は、選定採用された防音材料等が生産停止等により使用できなくなった場合は、依頼者から別記様式第 2 による演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用取下書を提出させるものとする。

4 公表等

- (1) 地域社会協力総括課長は、第2項の手續により防音材料等を選定採用した場合、速やかに選定採用済防音材料等の一覧表を作成し、地方防衛局企画部長に送付するとともに、防衛省ホームページにおいて公表するものとする。
- (2) 地域社会協力総括課長は、前項の規定により選定採用を取り消したとき又は演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用取下書を受け付けたときは、前号の一覧表から削除し、当該一覧表を地方防衛局企画部長に送付するとともに、防衛省ホームページにおいて公表するものとする。
- (3) 地方防衛局防音対策課長は、第1号又は前号の送付があったときは、当該一覧表を地方防衛局ホームページにおいて公表するものとする。

5 仕方書において性能等の指定のない防音材料等

前3項の規定は仕方書において性能等の指定のない防音材料等について準用する。この場合において、第2項第1号中「別記様式第1による演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用依頼書」とあるのは「別記様式第3による演習場周辺住宅防音工事防音材料等の参考掲載について」と、第3項第2号中「別記様式第2による演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用取下書」とあるのは「別記様式第4による演習場周辺住宅防音工事防音材料等の参考掲載からの削除について」と読み替えるものとする。

(別記様式第 1)

令和 年 月 日

演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用依頼書

防衛省地方協力局地域社会協力総括課長 殿

依頼者
(法人番号)
氏名
住所

演習場周辺住宅防音工事標準仕方書共通事項 3 の規定に基づき、下記に掲げる防音材料等の選定採用を依頼します。

記

- 1 防音材料等の種類：
- 2 製品名：
- 3 選定採用を希望する地域（地方防衛局）：

添付書類：公的試験所、研究所等における性能試験報告書（原本）

(別記様式第2)

令和 年 月 日

演習場周辺住宅防音工事防音材料等の選定採用取下書

防衛省地方協力局地域社会協力総括課長 殿

依頼者

(法人番号)

氏名

住所

演習場周辺住宅防音工事標準仕方書共通事項3に規定する選定採用に当たり、
下記に掲げる防音材料等について、選定採用の取下げを依頼します。

記

- 1 防音材料等の種類：
- 2 製品名：
- 3 取下げの理由：

(別記様式第3)

令和 年 月 日

演習場周辺住宅防音工事防音材料等の参考掲載について（依頼）

防衛省地方協力局地域社会協力総括課長 殿

依頼者

（法人番号）

氏名

住所

下記に掲げる防音材料等について、演習場周辺住宅防音工事選定採用済防音材料等一覧表（参考）への掲載を依頼します。

記

- 1 防音材料等の種類：
- 2 製品名：
- 3 参考掲載を希望する地域（地方防衛局）：

添付書類：公的試験所、研究所等における性能試験報告書（原本）

(別記様式第4)

令和 年 月 日

演習場周辺住宅防音工事防音材料等の参考掲載からの削除について（依頼）

防衛省地方協力局地域社会協力総括課長 殿

依頼者

（法人番号）

氏名

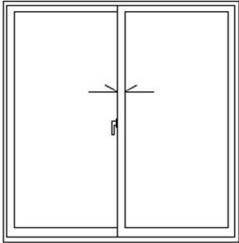
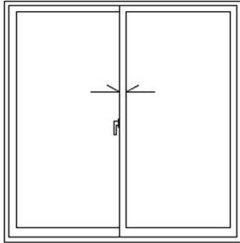
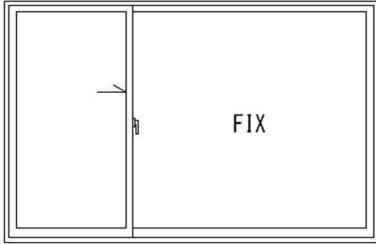
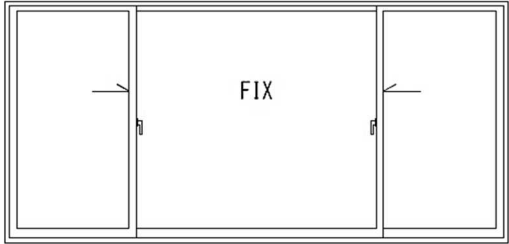
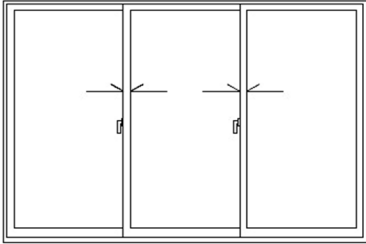
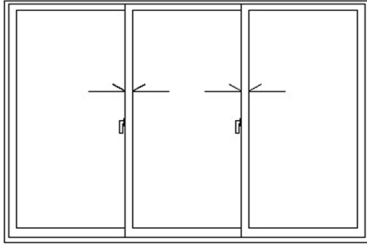
住所

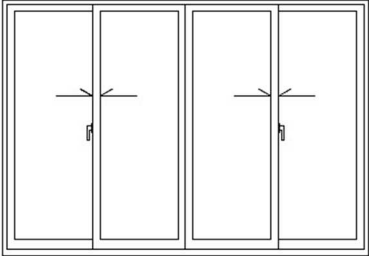
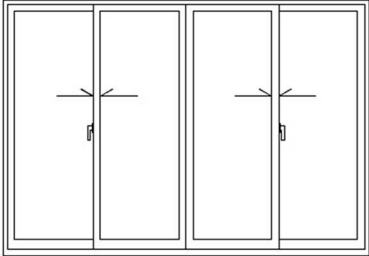
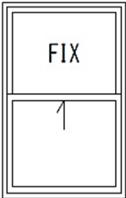
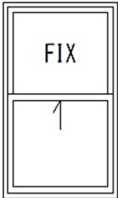
下記に掲げる防音材料等について、演習場周辺住宅防音工事選定採用済防音材料等一覧表（参考）からの削除を依頼します。

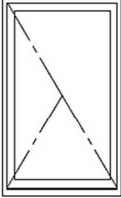
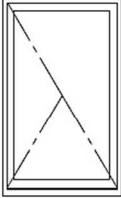
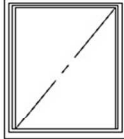
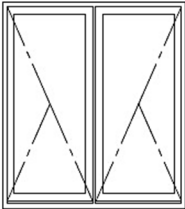
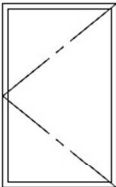
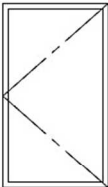
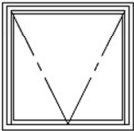
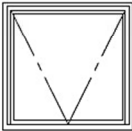
記

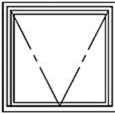
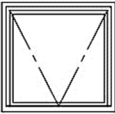
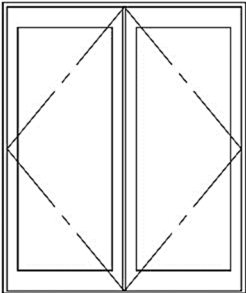
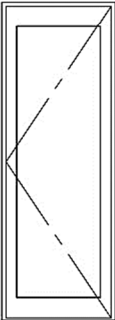
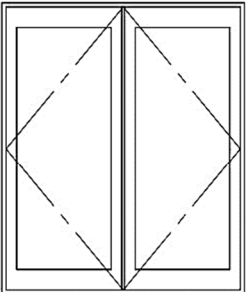
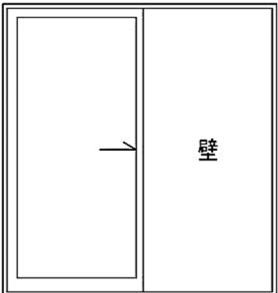
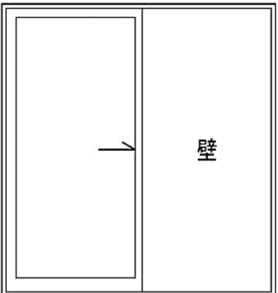
- 1 防音材料等の種類：
- 2 製品名：
- 3 取下げの理由：

アルミニウム合金製気密建具

試験体形状及び内法基準寸法	適用範囲
①引違い窓(2枚戸) 内法基準寸法: W1,600mm × H1,720mm 	引違い窓(2枚戸)  片引き窓(1枚戸)  両袖片引き窓 
②引違い窓(3枚戸・3本レール) 内法基準寸法: W2,500mm × H1,720mm 	引違い窓(3枚戸・3本レール) 

試験体形状及び内法基準寸法	適用範囲
③引違い窓(4枚戸) 内法基準寸法: W2,500mm×H1,720mm 	引違い窓(4枚戸) 
④片上げ下げ窓 内法基準寸法: W800mm×H1,300mm 	片上げ下げ窓 
⑤F I X窓 内法基準寸法: W800mm×H1,800mm 	F I X窓 

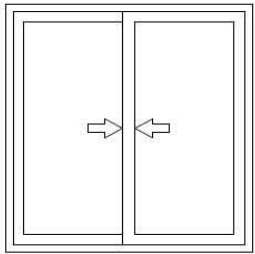
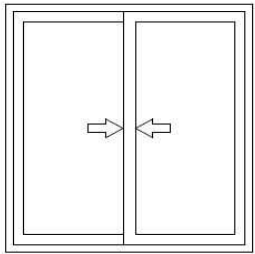
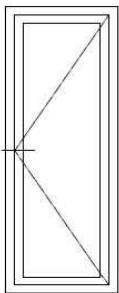
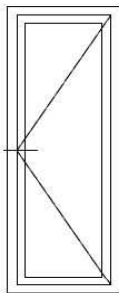
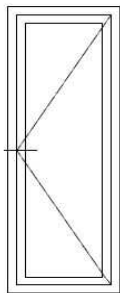
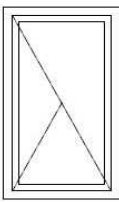
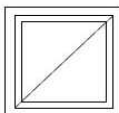
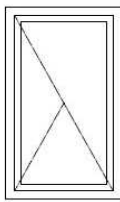
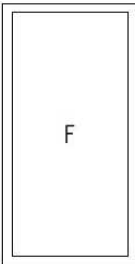
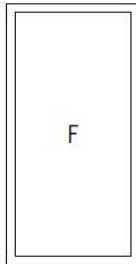
試験体形状及び内法基準寸法	適用範囲	
⑥縦すべり出し窓 内法基準寸法：W800mm×H1,300mm 	縦すべり出し窓 横すべり出し窓  	
	両縦すべり出し窓 	
⑦片開き窓 内法基準寸法：W800mm×H1,300mm 	片開き窓 突き出し窓  	
⑧外倒し窓 内法基準寸法：W800mm×H800mm 	外倒し窓 	

試験体形状及び内法基準寸法	適用範囲
⑨内倒し窓 内法基準寸法：W800mm×H800mm 	内倒し窓 
⑩両開き框ドア 内法基準寸法：W1,600mm×H2,000mm 	片開き框ドア  両開き框ドア 
⑪片引き戸 内法基準寸法：W800mm×H2,000mm 	片引き戸 

注 1：試験体の製作範囲は、内法基準寸法±100mm程度とする。

注 2：防音建具が方立を介して連窓となっている場合は、個別の試験体により、また、引違い窓（雨戸一体）の場合は、引違い窓の試験体によることができるものとする。

硬質ポリ塩化ビニル製建具

試験体開閉形式及び寸法	包括適用範囲
①引違い窓 内法寸法:W1,600mm×H1,720mm 	引違い窓 
②開き窓又はテラスドア 内法寸法:W650mm×H2,000mm 	開き窓 テラスドア  
③縦すべり出し窓 内法寸法:W680mm×H1,290 	横すべり出し窓 縦すべり出し窓  
④F I X窓 内法寸法:W800mm×H1,800mm 	F I X窓 

注：防音建具が方立を介して連窓となっている場合は、個別の試験体によることができるものとする。